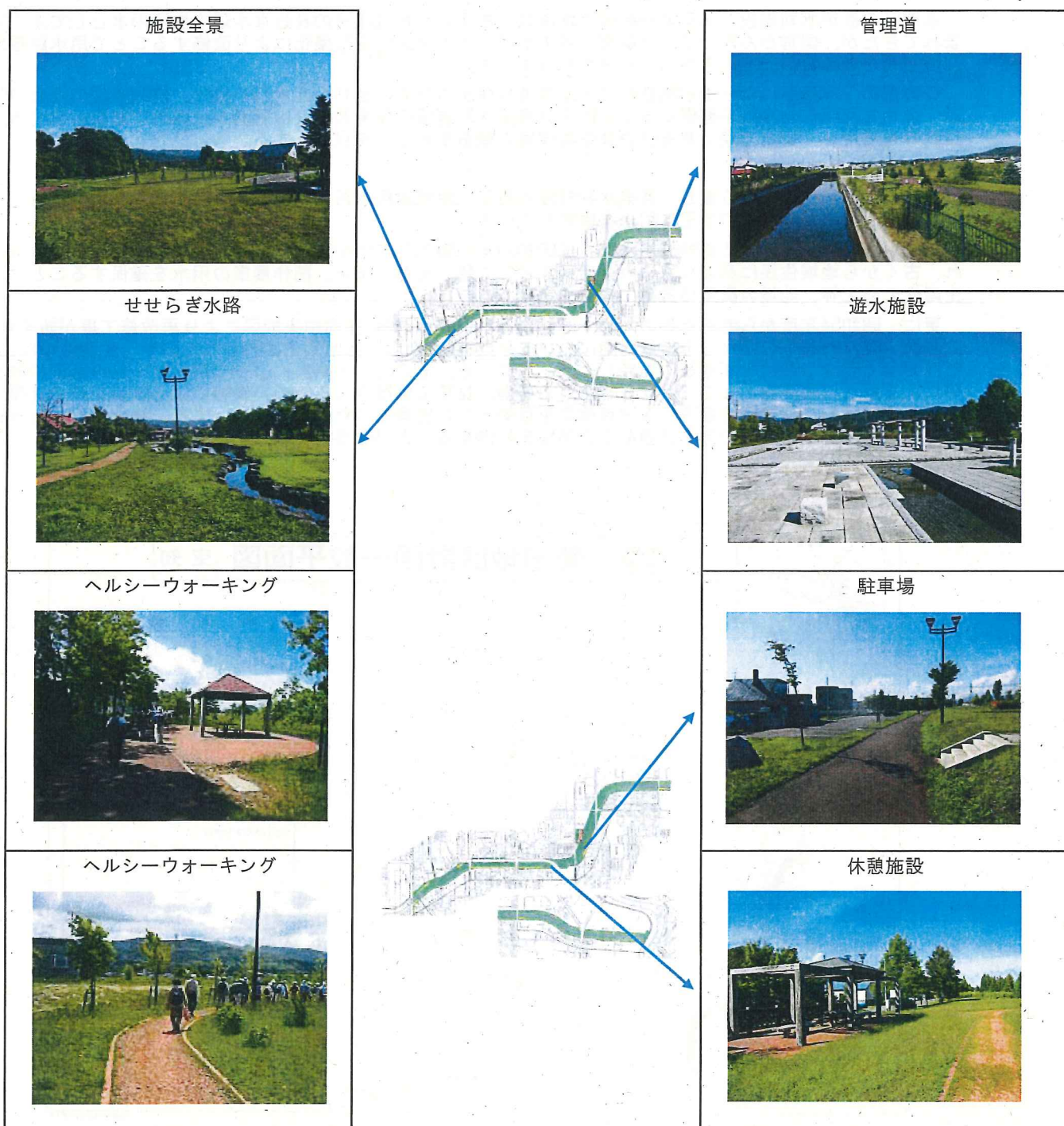


3 事業概要

- | | | | | | |
|--------------------|---------------------|---|----------|--------|----------|
| (1) 地区名 | 地域用水環境整備事業 美唄地区 | | | | |
| (2) 関係市町村名 | 美唄市 | | | | |
| (3) 総事業費 | 当初計画時点 710百万円 | 最終計画 | 1,220百万円 | 事業完了時点 | 1,204百万円 |
| (4) 事業期間 | 当初計画時点 H6～H10 | 最終計画 | H6～H17 | 事業完了時点 | H6～H17 |
| (5) 受益面積 [設定していない] | | | | | |
| (6) 受益戸数 [設定していない] | | | | | |
| (7) 主要工事内容 | 親水・景観保全施設
利用保全施設 | 遊水施設、せせらぎ水路、地覆
管理道、駐車場、休憩施設、パーゴラ、便所、安全柵、ベンチ
水飲場、水質保全施設、照明、案内板 | | | |

関連事業：国営かんがい排水事業 空知中央地区（昭和54年度～平成20年度）



ア 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析は行っていない。）

○利用者数

事業完了後は、地域住民が管理用道路を通勤・通学やジョギング・散歩等のコースとしたり、健康増進のためのウォーキング会の開催や小学校の遠足などの目的で、施設が利用されている。

利用者数の詳細調査は行っていないが、以下に推計値を示す。

ウォーキング会参加人数

平成22年度 6月：24人 7月：20人 9月：20人

平成23年度 6月：27人 9月：22人

小学校遠足利用者 平成23年度 120名程度

保育園児利用者 平成23年度 2,400名程度

2 地域農業の動向

（耕地面積-販売農家-）美唄市

（単位：ha）

年度	平成7年度	平成22年度	増減率(%)
田	8,628	8,671	0.5
畑・樹園地	414	306	△ 26.1
計	9,041	8,978	△ 0.7

（※四捨五入で計があわない。）

〔参考〕北海道全体

平成7年度	平成22年度	増減率(%)
234,744	222,188	△ 5.3
787,539	846,067	7.4
1,022,283	1,068,255	4.5

資料 農林業センサス

都市化などの影響により、北海道全体と比較して大きく減少しており、特に畑・樹園地の減少率が大きくなっている。

（農家戸数-販売農家-）美唄市

（単位：戸）

年度	平成7年度	平成22年度	増減率(%)
専業	390 (32%)	285 (42%)	△ 26.9
第1種兼業	630 (52%)	296 (43%)	△ 53.0
第2種兼業	189 (16%)	100 (15%)	△ 47.1
計	1,209	681	△ 43.7

〔参考〕北海道全体

平成7年度	平成22年度	増減率(%)
33,486 (46%)	26,709 (61%)	△ 20.2
28,018 (38%)	11,963 (27%)	△ 57.3
12,084 (16%)	5,395 (12%)	△ 55.4
73,588	44,067	△ 40.1

資料 農林業センサス

農家戸数は減少傾向にあり、北海道全体と比較しても減少率が大きく、特に兼業については著しい減少率となっている。

（経営耕地面積規模別農家戸数）美唄市

（単位：戸）

年度	平成7年度	平成22年度	増減率(%)
5ha未満	428 (35%)	173 (24%)	△ 59.6
5～10ha	459 (38%)	127 (18%)	△ 72.3
10～20ha	295 (24%)	279 (39%)	△ 5.4
20ha以上	27 (2%)	130 (18%)	381.5
計	1,209	709	△ 41.4

〔参考〕北海道全体

平成7年度	平成22年度	増減率(%)
25,124 (34%)	12,625 (27%)	△ 49.7
16,725 (23%)	6,645 (14%)	△ 60.3
14,742 (20%)	9,387 (20%)	△ 36.3
16,997 (23%)	17,890 (38%)	5.3
73,588	46,547	△ 36.7

資料 農林業センサス

北海道全体と同様に、規模の小さな農家の減少率が大きく、20ha以上の農家の占める割合が高くなっており、大規模化が進んでいるが、北海道全体と比較して規模の小さな農家の割合が高い。

(年代別農業就業者数) 美唄市 (単位: 人)

年度	平成7年度	平成22年度	増減率(%)
39歳未満	504 (19%)	232 (14%)	△ 54.0
40～54歳	850 (32%)	378 (23%)	△ 55.5
55～64歳	659 (25%)	471 (28%)	△ 28.5
65歳以上	667 (25%)	587 (35%)	△ 12.0
計	2,680	1,668	△ 37.8

[参考] 北海道全体

平成7年度	平成22年度	増減率(%)
37,428 (21%)	18,605 (17%)	△ 50.3
51,501 (29%)	26,538 (24%)	△ 48.5
42,707 (24%)	27,866 (25%)	△ 34.8
47,971 (27%)	38,343 (34%)	△ 20.1
179,607	111,352	△ 38.0

資料 農林業センサス

北海道全体と比較して減少率は大きくなっているが、年代別の構成率は変動がない。また、北海道全体の年代別の構成率を比較すると同様傾向にある。

(農業産出額) 美唄市 (単位: 百万円、千円)

年度	平成7年度	平成17年度	増減率(%)
農業産出額	9,927	7,810	△ 21.3
戸当たり	8,211	11,468	39.7

[参考] 北海道全体

平成7年度	平成17年度	増減率(%)
1,114,300	1,066,300	△ 4.3
15,142	24,197	59.8

資料 北海道農林水産統計年報

北海道全体と比較して減少率は大きくなっており、また戸当たりにおいては増加しているものの、北海道全体と比較して小さくなっている。

(主要作物作付状況) 美唄市 (単位: ha)

年度	平成7年度	平成22年度	増減率(%)
水稻	6,810	4,490	△ 34.1
小麦	949	2,350	147.6
豆類	123	925	652.0

[参考] 北海道全体

平成7年度	平成22年度	増減率(%)
163,200	114,600	△ 29.8
87,700	116,300	32.6
43,620	47,700	9.4

資料 北海道農林水産統計年報

主要作物の作付状況を見ると水稻から小麦、大豆・小豆など畑作物に移行している。増減の傾向は北海道全体とほぼ同様となっているが、水稻の減少率は北海道全体と比較して大きくなっており、また小麦、大豆・小豆は北海道全体と比較して大きく増加している。